

令和2年度・事業所による自己評価結果

事業所：ハッピーハート新大前 事業：放課後等デイサービス 回答数：9

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	自分が工夫している点 自分の課題や改善する点	課題又は改善目標
環境・体制整備	1 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせ、安全性が配慮された空間となっているか。	7	2		・心地よい場所、安全性を重点にして配慮している。 ・その日の利用児に合わせた活動、配慮を心がけている。	今後も状況や利用児のコンディションに合わせて、活動や配慮の点での変更を考えていきます。
	2 職員の配置数は適正であるか。	9			・十分な活動ができる人数で助かっている。	
	3 子どもや保護者への支援や対応に困った時、相談できる体制が整っているか。	9			・管理者や誰にでも相談できる環境だ。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員は参画しているか。	9				
	5 前年度の保護者向けアンケートや、面談による保護者の意向等を把握し業務改善にいかしているか。	9			・できるだけ安心して信頼される施設を作っていくよう心掛ける。 ・前年度のことを聞き、把握しながら支援を行っている。	
	6 接遇（言葉使い・挨拶等）、身だしなみを意識して業務に就いているか。	9				
	7 職員の資質の向上を行うために、組織として研修の機会を確保しているが、意欲的に参加しているか。	5	4		・感染症の為、前年度より機会が少なく仕方がないが、今後前向きに考えたい。 ・担当になったことを最後まで行うよう気を付ける。	今後研修の際には職員に案内をし、参加または内容の伝達を行っていきます。また研修の担当者には、応じたサポートを行います。
適切な支援の提供	8 面談等を適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成していると思われるか。	8	1		・全てのニーズを整理し、優先順位をつけることが難しい。今後も課題です。 ・面談や日々の会話から作成していると思われる。子どもが安心してできるよう支えたい。	課題の整理と優先順位をしっかりと行い、安心して迷いのない支援ができるよう、個人の支援資質を向上させていきたいと思います。
	9 個別支援計画を周知し、子どもと保護者のニーズや課題を理解しているか。	7	2		・常に意識し、そこを中心として支援にあたっている。 ・職員全員で回覧し周知している。	日々刻々と変化する利用児の様子に応じて計画の見直し、相談、周知を今後も行います。
	10 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせる計画を作成しているか。また、指導員は計画を意識し、支援や活動内容の意図を理解し支援しているか。	7	2		・伝達、周知を行うが、全てうまくいっていない。課題です。 ・毎日の活動内容で、どのようなことを子どもたちにしていきたいのかを考え、理解し、すすめている。 ・グループ室が出来てから、以前よりも子どもの状況に応じて対応できている。	活動計画の段階で考えることができているが、当日の打ち合わせに個別計画と合わせた考えをもう一歩踏み入れて考え、活動の最終組み立てができると支援しやすくなると思うので、皆さんと相談していきたいと思います。
	11 事業所全体で、子どもへの共通理解を持って支援にあたるよう努めているか。	8	1		・伝達、周知を行うが、全てうまくいっていない。課題です。 ・子どもの小さな変化にも気付けるよう配慮している。 ・日々の反省会、職員同士の話し合いで共有できている。	新しい職員、ヘルプの職員に対して、丁寧な説明ができていないことがありました。大切なことを瞬時に伝えていけるアイテムを意見を出し合い考えていきたいと思います。
	12 活動プログラムはチームで立案を行っているか。	8	1			
適切な支援の提供	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9				
	14 支援を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を意識して行っているか。	9				
	15 平日、長期休暇等に応じて、活動内容を設定し、支援しているか。	9			・計画し、当日の状況を加味して実行している。 ・利用時間に応じて内容を計画している。	
	16 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	9				
	17 支援終了後には、職員間で話し合いをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9				
	18 支援内容や状況等を正しく記録に残し、支援の検証・改善につなげているか。	9				
関係機関や保護者と	19 相談支援事業所のモニタリングや、支援会議等に、子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	9				
	20 児童発達支援センターや発達障害者支援センター（JOIN）等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	7	2		・普段の支援に大事なこと等学べる良い研修だと感じている。	
	21 以前まで利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、または学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2		・移行期や支援のつまずきの時には特に行っている。	
	22 学校や障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			・相手先のニーズに合わせて提供の形を考え行っている。	
	23 保育園や学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		・その都度行っている。	

の連携	24	保育所や認定こども園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	3	4	2	・感染症で十分に行えずにいるが、機会があれば考えていきたいと思う。	
	25	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			・共通理解を大切にしている。 ・伝え合うことは大切。また、伝え方もそのご家庭に合わせていく。	
	26	支援の内容、利用者負担等について、質問があった際、誠意ある対応、丁寧な説明を行っているか。	8	1		・その場で答えられない場合は確認してから伝えるようにする。 ・わかることは誠意を持って対応し、わからない時は責任者に指示を仰ぐようにしている。	
保護者への説明責任等	27	個別支援計画は、支援の内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	9				
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	2		・全ての相談に助言できていない自分の未熟さを、今後も学びと経験でカバーしつつ丁寧に対応したい。 ・これからも適切な対応を学んでいきたい。	相談の内容の大小に関わらず、相談すべき上司や同僚に相談をしていけるように環境作りをしています。
	29	子どもや保護者からの相談・申入れがあった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	9				
	30	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定等を子どもや保護者に対して発信しているか。	9				
	31	個人情報に十分注意しているか。	8	1		・配布物やFAX送信の誤りがあった。気を付けていく。	
	32	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために、伝わりやすいよう配慮をしているか。	9			・家庭や利用児に合わせた配慮を行うようにしている。	
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	2	・感染症で十分に行えずにいるが、機会があれば考えていきたいと思う。	通常通りの生活様式に戻る、または新しい生活様式に合わせられれば、その都度検討していきたいと思います。
非常時等の対応	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	9			・面談または日頃の連絡から共有を行っている。	
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	9			・状況を情報共有し、他職員に伝達している。	
	36	緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアルを策定し、職員に周知しているか。	8	1		・月に1度の避難訓練時に周知の機会として行っている。	
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			・月に1度行っているため、その日のメンバーに合わせた避難方法を考え続けていく。	
	38	虐待を防止するため、虐待チェックアンケートや、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			・3ヶ月に1度アンケートを作成し、実施後は職員会議で検討をしている。	
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載しているか。	8	1		・対象児の計画に可能な範囲で記載し、保護者に説明を行っている。	
40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	7	2		・作成と共有の意識が薄いと考えている。課題です。 ・記入するように意識することと、しっかり振り返りをする。 ・行っているが、書面に残していないことがあった。	ヒヤリハットについて今一度、自施設のヒヤリハットのボーダーラインを話し合いたいと思います。	

ハッピーハート新大前

職員の皆さん、日々お忙しい中、振り返りをさせていただきありがとうございます。
今年度は、感染症の影響があり、皆さんのご尽力なしでは乗り切ることができなかつたと痛感しています。
その中でも、こうして自分自身や施設に対して考えていただき、皆さんの考え方に触れることができてうれしいです。
満足していただけているところを継続、またはさらに高い所を目指すとともに、疑問点や力を出し切れなかつた点は、しっかりと相談や反省をしていきたいと思います。

今年度の反省として、外部研修の機会が難しかったためとはいえ、自施設で学ぶ機会をもう少し設けていけると良かったと思います。今後の課題としていきます。
施設内活動が続いた中で、皆さんと過ごす時間が多かった今年度は、今一度、皆さんの素敵な個性の発見がありました。これは大きな収穫でした。
今後も職員皆さんの個性を生かせるように、また、働くことが楽しい・やりがいがあるといった気持ちにつながるように、職場の環境を整えることをはじめ、1人1人の仕事（支援）への姿勢や気持ちを大切にしていきたいです。